

「消防団の力向上モデル事業」 事業紹介

事業名 消防団員による地域防災普及啓発活動

自治体名

赤村

消防団名

赤村消防団

1 事業の目的

消防団による見守り活動を実施することにより、非常時等いちはや状況を確認することに役立てるため。

2 事業内容

- ①赤村防災ハンドブックの作成
村と消防団が中心となり、独自で消防防災に関するハンドブックを作成した。(1,600部作製)
- ②住宅用火災警報器の設置
高齢者世帯に住宅火災の発生をいち早く知らせる手段、人命と財産を火災から守る防災機器として、住宅用火災警報器を村消防団が中心となって設置した。
住宅用火災警報器の設置だけでなく、高齢者への火災予防の声かけ、見守り活動を兼ねて実施した。

高齢者世帯 587世帯に設置



3 事業成果

赤村での最重要課題の一つでもある、高齢化社会の進展に伴う見守り活動について、消防団員が中心となり実施した。詳細な事業の成果としては、高齢者世帯で多く発生している、「逃げ遅れ事案」を未然に防ぐための住宅用火災警報器を設置し、高齢者の生活の安心・安全に務めることができた。また、赤村防災ハンドブックを作成して、消防団員が高齢者の見守り活動を兼ねて各戸訪問して配布し啓発に努めることができた。

4 目標達成状況

指標	単位	当初目標	実績値	備考
設置調査	人数	266人	153人	
設置	人数	266人	239人	
ハンドブック配布	回数	2回	2回	

5 その他参考情報

--